

SDGs未来都市等進捗評価シート

2022年度選定

徳島県徳島市

2024年8月

SDGs未来都市計画名

徳島市SDGs未来都市計画
～SDGsでまちの未来を創ろう！持続可能なわくわくするまち・とくしまの実現～

特に注力する先導的取組

ひょうたん島エリアを中心としたSDGsモデル地区形成事業

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

徳島市SDGs未来都市計画 ～SDGsでまちの未来を創ろう！持続可能なわくわくするまち・とくしまの実現～

(2) 2030年のあるべき姿

2030年のあるべき姿を、徳島市総合計画2021に掲げる都市の将来像「わくわく実感！水都とくしま」として、「本市ならではの魅力があふれ、誰もが『このまちが好き』と感じられるわくわくするまち」を目指しており、その実現に向けて、次の4つの基本目標の達成を図ります。①誰一人取り残さない！希望あふれるまち「とくしま」の創造、②多様性を認め合える！個性あふれるまち「とくしま」の創造、③強靱で未来へと続く！安心あふれるまち「とくしま」の創造、④地域経済を牽引する！活力あふれるまち「とくしま」の創造

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール

経済	社会	環境
   	      	    

(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2023年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	徳島市に住み続けたいと思う市民の割合【11.7】	2021年度 86.4 %	2023年度 82.6 %	2030年度 90.0 %	-106%
2	包括連携協定等による官民連携事業数【17.17】	2021年度 78 事業（累計）	2023年度 165 事業（累計）	2030年度 130 事業（累計）	167%
3	就業人口【8.5、9.2】	2015年 116,767 人	2020年 113,707 人	2030年 117,000 人	-1313%
4	まちなか歩行者通行量（平日・休日平均）【8.9、11.3】	2020年度 15,697 人	2023年度 13,801 人	2030年 20,000 人	-44%
5	保育所等利用待機児童数【3.2、4.2】	2021年度 12 人	2023年度 0 人	2030年度 0 人	100%
6	固定的性別役割分担意識の考え方に反対する市民の割合【5.1、10.2】	2021年度 61.7 %	2021年度 77.1 %	2030年度 69.0 %	210%
7	地区別津波避難計画策定率【11.5、11.b、13.1】	2020年度 57.9 %	2023年度 78.9 %	2030年度 100 %	50%
8	市域からの温室効果ガス総排出量【7.2、13.1、13.3】	2018年度 175.0 万 t-CO2	2020年度 177.0 万 t-CO2	2030年度 135.4 万 t-CO2	-5%
9	市民一人一日当たりのごみ排出量【11.6、12.2、12.3、12.5】	2020年度 1,018 g	2023年度 953 g	2030年度 838 g	36%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- ・計画全体（経済社会環境共通）において官民連携の取組を進め、指標No.2「包括連携協定等による官民連携事業数」について目標値を達成することができた。一方、指標No.1「徳島市に住み続けたいと思う市民の割合」については、達成度が0%以下となっており、SNSなど様々なメディアを通じて定住の場としての本市の歴史や魅力を発信し、市民のまちに対する愛着や誇りを醸成することで、割合の向上を図る。
- ・経済面では、指標No.3「就業人口」については高齢化や人口減少の課題があり、達成度が0%以下となった。今後、創業支援や女性・若者活躍の推進の取組を進めていく。
- ・指標No.4「まちなか歩行者通行量」については達成度が0%以下となった。これは、中心市街地の空洞化や新型コロナウイルス感染症の影響と考えられることから、今後、中心市街地における商業施設の再生や、本市の特色であるまちなかの水辺空間を生かした催しなどの取組を強化していく。
- ・社会面では、指標No.5「保育所等利用待機児童数」、指標No.6「固定的性別役割分担意識の考え方に反対する市民の割合」については、目標を達成できた。
- ・環境面では、指標No.8「市域からの温室効果ガス総排出量」については達成度が0%以下となった。これは、火力発電所の稼働増による電力排出係数の増加が主な原因であるが、令和5年12月の「ゼロカーボンシティ宣言」等を踏まえ、今後、温室効果ガスの削減のためにより効果的な取組を進めていく。指標No.9「市民一人一日当たりのごみ排出量」は目標達成に向けて数値が向上しており、引き続き啓発活動等を進めていく。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2022年～2024年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
1	強靱な地域経済の構築	市内製造品出荷額 (従業員4人以上)	2019年度 4,056 億円	2021年度 4,104 億円	2022年度 4,458 億円		2024年度 4,436 億円	106%
2		農産物等販売金額 (JA出荷分)	2020年度 80 億円	2022年度 70 億円	2023年度 69 億円		2024年度 80 億円	86%
3		観光客入り込み数	2020年度 37 万人	2022年度 107 万人	2023年度 106 万人		2024年度 200 万人	43%
4	中心市街地の再生	市内中心部の住民基本台帳人口の年間増減率(直近3か年平均)	2021年度 -1.32 %	2022年度 -1.52 %	2023年度 -1.86 %		2024年度 -0.54 %	-69%
5		アミコビル来館者数	2020年度 225 万人	2022年度 246 万人	2023年度 271 万人		2024年度 293 万人	68%
6	安心して子どもを 育てられる環境づくり	市立・民間保育所等の保育士数	2020年度 1,313 人	2022年度 1,384 人	2023年度 1,433 人		2024年度 1,370 人	211%
7		とくしま在宅育児応援クーポンの利用率	2020年度 52 %	2022年度 30.2 %	2023年度 38 %		2024年度 67.5 %	-90%
8		学童保育クラブ数	2020年度 47 クラブ	2022年度 51 クラブ	2023年度 53 クラブ		2024年度 52 クラブ	120%
9	多様性を認め合うダイバーシティ社会の推進	市の審議会等への女性委員の登用割合	2021年度 33.5 %	2022年度 36.4 %	2023年度 36.1 %		2024年度 35.7 %	118%
10		収入のある仕事をしている高齢者の割合	2019年度 27.7 %	2022年度 25.5 %	2023年度 25.4 %		2024年度 30.5 %	-82%
11		障がい者への就労移行支援事業の利用者数(2020～2024年度累計)	2020年度 115 人	2022年度 240 人	2023年度 307 人		2024年度 470 人	54%
12	大規模自然災害を迎え撃つ強靱なまちづくりの推進	自主防災組織結成率	2020年度 44.1 %	2022年度 43.3 %	2023年度 43.3 %		2024年度 47.5 %	-24%
13		防火・防災訓練等への参加者数	2019年度 43,773 人	2022年度 20,222 人	2023年度 38,231 人		2024年度 50,000 人	-89%
14		緊急輸送道路や避難路等に係る橋りょうの耐震化率	2020年度 73 %	2022年度 82 %	2023年度 82 %		2024年度 85 %	75%
15	緑豊かな環境共生都市の実現	住宅用太陽光発電システム設置件数(累計)	2019年度 5,326 件	2022年度 6,832 件	2023年度 6,852 件		2024年度 7,400 件	74%
16		緑化推進事業への参加者数	2020年度 3,723 人	2022年度 4,068 人	2023年度 4,185 人		2024年度 4,100 人	123%
17		子ども環境リーダー認定数(累計)	2021年度 936 人	2022年度 946 人	2023年度 971 人		2024年度 1,200 人	13%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2022年～2024年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
18	持続可能な資源循環システムの構築	リサイクル率	2020年度 13.34 %	2022年度 13.91 %	2023年度 13.29 %		2024年度 18.20 %	-1%

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

- ・SDGsに関する、民間企業等との連携を積極的に進めており、令和5年度には新たに3社と包括連携協定を締結し、様々な取組を展開した。
- ・公民連携の取組を拡大するなど、市民・企業・地域団体等が「じぶんごと」としてSDGsの達成に取り組むことで、補助金等に頼らない自律的好循環の形成に努めている。
- ・また、徳島市公民連携プラットフォームのWEBサイト「Co×Lab Tokushima」により、連携事業の紹介や制度の周知等を図った他、多様な人材の活躍推進や多様で柔軟な働き方を推進する企業を応援する「ダイバーシティ経営企業認定制度」について、認定企業の取組をロールモデルとして発信するなど、機運の向上を図った。
- ・SDGsの普及・促進に向けた総合的な取組として、SDGs未来都市フォーラムやSDGsこども未来チャレンジを開催した。

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- ・指標No.2「農産物等販売金額」については、資材や燃料価格の高騰により売上の減少の影響等が見られた。今後、販路開拓や資材の低コスト化の取組を進める。
- ・指標No.3「観光客入り込み数」については、悪天候により阿波おどりが1日中止となったことにより伸び悩んだ。今後、インバウンドや2025大阪・関西万博を契機に本市へ足を運んでもらえるよう阿波おどりを核とした本市の魅力発信に努めたい。
- ・指標No.4「市内中心部の住民基本台帳人口の年間増減率（直近3か年平均）」については、高齢化の影響が大きく、達成度が0%以下となった。現在、集合住宅を備えた市街地再開発を進めているため、今後、まちなか居住や移住促進等の取組を強化していく。
- ・指標No.5「アミコビル来館者数」、については、目標達成に向けて数値が上昇している。
- ・指標No.7「とくしま在宅育児応援クーポンの利用率」については、達成度が0%以下となった。引き続き、利用サービスの充実などクーポンの利用拡大に向けた取組等を進める。
- ・指標No.9「市の審議会等への女性委員の登用割合」については、目標を達成することができた。
- ・指標No.10「収入のある仕事をしている高齢者の割合」については、コロナ渦の影響もあり達成度が0%以下となった。今後、シルバー人材センターやハローワークと連携し、高齢者の働きやすい環境づくりの強化に務める。
- ・指標No.12「自主防災組織結成率」については、核家族世帯や一人暮らし単身世帯の増により、分母となる世帯数が毎年増加していることが影響している。なお、消防白書データである組織カバー率は100%となっている。今後、目標達成に向けて地域における自主防災組織への更なる加入促進に取り組む。
- ・指標No.13「防火・防災訓練等の参加者数」については達成度が0%以下となったが、新型コロナウイルス感染症が5類となって以降、徐々に活動を再開する団体が増えており、今後目標達成に向けて参加者増を目指す。
- ・指標No.16「緑化推進事業への参加者数」については目標を達成することができた。

(4) 有識者からの取組に対する評価

(記載不要)

2. 特に注力する先導的取組

(1) 取組名

ひょうたん島エリアを中心としたSDGsモデル地区形成事業

(2) 取組の概要

本市では、中心市街地のひょうたん島エリアにおいて、阿波おどりや、とくしまマルシェといったイベントの開催、親水公園の整備、ひょうたん島周遊船の運航など、官民が連携して特色ある様々な事業を推進しており、今後、本計画が目指す持続可能なまちづくりにおいても、ひょうたん島エリアには先導的な役割を果たしていくことが求められる。そのため、ひょうたん島エリアをSDGsモデル地区として、SDGsのゴール達成に寄与する先駆的・実験的な取組を積極的に進めることにより、市民の機運醸成や理解促進を図るとともに、その成果を周辺地域にフィードバックすることでSDGsの実現につなげていく。

(3) 三側面ごとの取組の達成状況

取組名	取組内容	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
【経済】 ①-1 唯一無二の体験コンテンツ等の提供 ①-2 アミコビルを核とした本市の活力再生	阿波おどり会館の魅力向上や誘客促進を図る。 百貨店撤退等により活気が低下した徳島駅前のアミコビルに新たな商業テナント誘致や、様々な公共施設を配置することで再生を図る。	ランドマーク施設来館者数（本提案書におけるランドマーク施設とは、アミコビル、阿波おどり会館とする。）	2020年度 2,441 千人	2022年度 2,869 千人	2023年度 3,232 千人		2024年度 3,577 千人	70%
【社会】 ②-1 多種多様な人々の社会参加・進出の促進 ②-2 「とくしま」への愛着・誇りの醸成	移住促進や男女共同参画、住民による地域課題の解決、リノベーションまちづくりの普及啓発に向けた取組を進める。 住民や児童・生徒が徳島市の歴史や魅力を知り機会を提供する。	本事業※1を通じた地域の担い手※2創出・確保数（累計） ※1 本計画に沿って実施される取組を指す ※2 域内人材（地域活動・まちづくり等に参画した人数）と域外人材（移住者数・関係人口数）の両方を含む	2021年度 0 人	2022年度 75 人	2023年度 92 人		2024年度 150 人	61%
【環境】 ③-1 環境にやさしい循環型ハード整備 ③-2 気候変動に対応する都市づくり	公共施設等への再生可能エネルギー設備の導入を図るとともに、集約型都市構造の構築、自転車活用の推進に取り組む。	市域からの温室効果ガス総排出量	2018年度 175.0 万t-CO2	2019年度 149.0 万t-CO2	2020年度 177.0 万t-CO2		2024年度 167.4 万t-CO2	-26%

(4) 「三側面ごとの取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- ・指標「ランドマーク施設来館者数」については、施設のリニューアル等を進め、目標達成に向けて順調に推移している。
- ・指標「本事業※1を通じた地域の担い手※2創出・確保数（累計）※1 本計画に沿って実施される取組を指す※2 域内人材（地域活動・まちづくり等に参画した人数）と域外人材（移住者数・関係人口数）の両方を含む」については、リノベーションまちづくりの推進や、市民が主体的にまちづくりに参加する「共創によるまちづくり事業」の展開、移住交流支援センターを拠点とした移住促進の取組等により、目標達成に向けて順調に推移している。
- ・指標「市域からの温室効果ガス総排出量」については、達成度が0%以下となった。これは、火力発電所の稼働増による電力排出係数の増加が主な原因であるが、今後、温室効果ガスの削減のためにより効果的な取組を進めていく。

2. 特に注力する先導的取組（三側面をつなぐ統合的取組）

(1) 三側面をつなぐ統合的取組名

ダイバーシティと民間活力を原動力とし、人と人がつながる「水都とくしま」創造事業 ～SDGsを自分ごと化し、みんなでSDGsを実現するまち～

(2) 三側面をつなぐ統合的取組の概要

世代を超え、多様な主体が参画する「徳島市SDGs未来都市実現協議会」を軸にして、一人一人がSDGsを自分のことと捉え行動するための新たな仕掛けも取り入れながら、SDGsモデル地区である「ひょうたん島エリア」を中心に、たくさんの人と人がつながる取組を進めることにより、三側面に好循環をもたらし、持続可能な「水都とくしま」を実現する。

(3) 三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果

経済⇄環境	経済⇄社会	社会⇄環境
<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済面で、ひょうたん島エリアでのにぎわいづくりなどの取組を進めることで、環境面においても市民や団体の活動の活発化を目指す。 ・ また、環境面で、水辺環境の整備による魅力的な景観整備等の取組を進めることで、市民のまちに対する愛着心を高め、中心市街地でのにぎわい向上など、経済面での相乗効果を創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済面で、ひょうたん島エリアでの周遊船の運航などの取組を進めることで、まちのブランディングを図り、移住や定住人口の増加を目指す。 ・ また、社会面で、子どものSDGs活動や、女性活躍などに取り組む企業の育成などの取組を進めることで、経済活動の活発化など、経済面での相乗効果を創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会面で、「水都とくしま」のアイデンティティを高め、まちづくりに対する市民意識を向上する取組を進めることで、環境面においても、省エネなど市民の取組の活性化を目指す。 ・ また、環境面で、民間企業との連携による脱炭素などの取組を進めることで、市民のSDGsや社会課題への関心を高め、まちづくりに参画する市民活動の活性化といった社会面での相乗効果を創出する。

(4) 三側面をつなぐ統合的取組の達成状況

No	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
1	【経済→環境】 出前環境教室参加人数（累計）	2020年度 2,268 人	2022年度 4,599 人	2023年度 6,006 人		2024年度 8,400 人	38%
2	【環境→経済】 中心市街地の長時間滞在者数 ※1時間以上滞在 延べ人数（ただし、3時間以上滞在は住民等も含まれると思われるため除く）	2021年 459 万人	2022年度 370 万人	集計中		2024年 480 万人	
3	【経済→社会】 まちなかへの移住者数（累計）	2021年度 未計測	2022年度 42 人	2023年度 54 人		2024年度 12 人	350%
4	【社会→経済】 小売業年間商品販売額	2016年度 2,717 億円	2021年度 2,442 億円	2021年度 2,441 億円	←確認中	2024年度 2,750 億円	-833%
5	【社会→環境】 省エネに取り組んでいると感じる市民の割合	2021年度 59.0 %	2022年度 59.9 %	2023年度 62.3 %		2024年度 62 %	110%
6	【環境→社会】 NPO等との協働事業数	2020年度 72 事業	2022年度 97 事業	2023年度 112 事業		2024年度 112 事業	100%

(5) 自律的好循環の形成に向けた取組状況

- ・本取組は、ダイバーシティと民間活力を原動力とするものであり、多くのステークホルダーや民間企業の参加を得て、次の例のような様々な取組を進めている。
- ・例1：ヤマハ発動機株式会社との連携による、「ひょうたん島周遊船の電動化実証実験」
- ・例2：喜多機械産業株式会社との連携による、「太陽光パネルのリユース実証実験」
- ・例3：株式会社Polipoliとの連携による、寄付基金「Policy Fund」を活用した地域課題解決のための企画募集
- ・民間活力を原動力とすることで、自律的な好循環の形成を目指しており、今後、さらに取組の拡大、発展を目指していく。

(6) 「三側面をつなぐ統合的取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等


- ・指標No.3「まちなかへの移住者数※」については、本市の暮らしに関する魅力発信等の移住促進施策を展開し、目標値を達成できた。
- ・経済面での指標No.2「中心市街地の長時間滞在者数」及び、指標No.4「小売業年間販売額」については、中心市街地の空洞化や人口減少の影響から指標が低下しており、今後、ひょうたん島エリアのにぎわい向上や、ECによる販路拡大などに取り組むとともに、社会面や環境面での取組も強化することで目標の達成を目指す。
- ・指標No.6「NPO等との協働事業数」については、目標値を達成できた。

(7) 有識者からの取組に対する評価

(記載不要)

徳島市SDGs未来都市計画 ～SDGsでまちの未来を創ろう！持続可能なわくわくするまち・とくしまの実現～


徳島県徳島市（2022年度選定）

<h3>1. 地域の特徴と課題及び目標</h3>	<ul style="list-style-type: none"> 徳島市は、市街地を多くの川が流れる、水とともに発展してきたまちであり、徳島県は女性社長比率が全国トップクラスであるなど、ダイバーシティの実現に積極的であること、従来から政策課題にNPO法人などと取り組んでいるなど、官民連携が進んでいるといった特徴がある。 一方で、人口減少、中心市街地の活性化といった課題があり、SDGsの取組を通じて、将来像「わくわく実感！水都とくしま」の実現を目指す。 	<h3>2. 関連するゴール</h3>	
--------------------------	---	---------------------	---

<h3>3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)</h3>	<p>「ダイバーシティ」、「民間活力」を原動力とし、市民、企業、地域団体など様々なステークホルダーとの連携により、本市の特徴である「水都」の環境を生かして、中心市街地の再生、多様性を認め合うダイバーシティ社会の推進、緑豊かな環境共生都市の実現など、SDGsの目標達成に寄与する様々な先駆的・実験的な取組を推進する。</p>
---	---


4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

・中心市街地の「ひょうたん島エリア」をSDGsモデル地区として、SDGsのゴール達成に寄与する先駆的・実験的な取組を進める。



6. 取組成果

- 包括連携協定等による官民連携事業数 133事業（2022）→165事業(2023)（取組例）
脱炭素化に向けて、ヤマハ発動機株式会社と連携し、ひょうたん島周遊船電動化の実証実験を実施
- 子どもが日頃から考えていることについての声をきく取組として、子ども議会を開催
- 企業や地域で活躍する女性の働き方・生き方の取組事例をロールモデルとして取材し、広報誌等で発信



5. 取組推進の工夫

・SDGsの達成に向けた取り組みの推進にあたっては、自治体だけでなく、様々なステークホルダーとの連携が必要であることから、「徳島市SDGs未来都市実現協議会」を設置し、市民、民間企業、教育機関、NPO等多様な主体が話し合い、行動する体制を構築している。

7. 今後の展開策

- こどもの声や、女性の視点や発想を取組に反映する仕組みのさらなる構築
- 公民連携のさらなる推進
- 中心市街地活性化、かわまちづくりの取組強化

<h3>8. 他地域への展開状況（普及効果）</h3>	<p>・消費者庁主催の「令和5年度地方連携推進フォーラム in 徳島」において、パートナーシップによるSDGs未来都市の実現と題して、本市の取組の事例発表を行った。</p>
-----------------------------	--